

審 議 経 過 No. 1

<p>(1) 伊万里市ごみ処理基本計画について</p>	
<p>事務局より、伊万里市ごみ処理基本計画について説明を行った。</p>	
<p>委 員</p>	<p>監視カメラは、一台いくらかかるのか。リースなのか買取なのか。また、小売店に引き取り義務がない家電製品は、伊万里市が有料で回収することになっているとあるが、大変いいことだと思うので、行政には料金を安くする等で頑張ってもらいたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>監視カメラは、リースで2台合わせて年間1,033,200円である。また、リサイクル料金は法律で定められており、全国一律なので下げることはできない。</p>
<p>委 員</p>	<p>市が考えるごみの減量化とはどういうことなのか。人口が減っているのに、ごみの量は横ばいとなっているのはどうしてか。</p>
<p>事務局</p>	<p>リサイクルを推進することで、資源化率が増え、ごみの減量化にもつながると考えている。また、人口が減っているのにごみの量が減らないのは、世帯数が増えているからだと考えられる。</p>
<p>委 員</p>	<p>ごみを減らすために、スーパー等でレジ袋を渡さないといった取り組みをしてほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在マイバッグ・ノーレジ袋推進運動が県の方で取り組まれており、少しずつ普及してきていると考えている。</p>
<p>委 員</p>	<p>西部広域ごみ処理施設（以下、新施設という。）になっても、環境センターのリサイクル施設は使用されるようだが、他の市町からも搬入されるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>搬入されない。ほかの市町も、それぞれリサイクルセンターを持っているのでそちらに搬入される。</p>
<p>委 員</p>	<p>新施設でも、現在の環境センターのように家庭の粗大ごみを引き取ってもらえるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>引き取ってもらえる。</p>
<p>委 員</p>	<p>（リサイクルサンデーに関して）市民は、モラルを守っているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>やはり区によって、リサイクルに対する意識が違い、きちんと分別されているところもあれば、回収場所に誰もおらず分別もあまりされていないような場所もある。</p>

委員	各区にごみ役員を作ってはどうか。
事務局	区によっては当番制できちんとされているところもある。また、各地区の区長が環境保全推進員となっており、ごみ関連についての監督もお願いしている。
委員	伊万里市では、古布の回収を停止しているが、再開することはできないのか。
事務局	伊万里市の人口や現在の状況では、収集量が少なく、採算が取れないので再開のめどは立たない。
協議の結果、伊万里市ごみ処理基本計画については了承された。	
(2) 西部広域ごみ処理施設の進捗状況について	
事務局より、西部広域ごみ処理施設（以下、新施設という。）の進捗状況について説明を行った。	
委員	新施設の試運転が来年の9月から行われるということで、本格稼働になる前の試運転期間中に視察を検討してほしい。
事務局	その方向で検討する。
委員	新施設の燃料はコークスだというが、輸入が主になり、費用がかさむのではないかと心配である。
事務局	確かに、費用は多少かさむが、焼却灰がほとんど出ず、その灰も資源に回すことができ、最終処分の埋め立て量を従来の十分の一程度に抑えることができる。また、環境や地元を配慮した焼却システムであるため、メリットデメリットの観点から多少の費用は必要経費だと考えている。
協議の結果、西部広域ごみ処理施設の進捗状況については了承された。	
(3) その他	
事務局より特段の説明事項はなく、委員からの質問等もなかった。	
以上をもって、平成26年度伊万里市ごみ対策協議会集団回収部会は閉会した。	